

Y3
NEWS

依藤・取締役就任のご挨拶

このたび、私依藤智子は弊社取締役役に就任しました。2020年から2021年は私たちにとって大きな変化の時！コンサルとしても信頼できるクライアントに恵まれ、1つ1つのプロジェクトが結実し実りの多い日々の中、『β本町橋』を運営するプレイヤーとしての新たなステージが始まります。コロナ禍でまちづくりの現場でも様々な変化が求められていますが、根本的に大切な事は変わらず、まちやひとと真摯に向き合う事！その想いを忘れず、関わるまちが少しでも素敵に、ハッピーになるようにより一層精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



右から杉本、依藤、福、廣井

ゴ 3 Y
換 3
持 タ メ
ン
バ
ー

杉本 容子

娘が小学校1年生になりました。事務所兼我が家は、放課後の子ども達の待ち合わせステーション兼遊び自由区と化しています。「決まっていないこと」「分からないこと」にどんな欲なハハ兼コンサルで、2021年も頑張ります！

福智菜美

「リモートワークなんて絶対無理!」と思っていたこれまでの私に、家事も仕事もできて快適でと教えてあげたい気持ちになった2020年でした。でも、直接会えるよさも実感したので、2021年は気兼ねなく飲みに行きたいです!

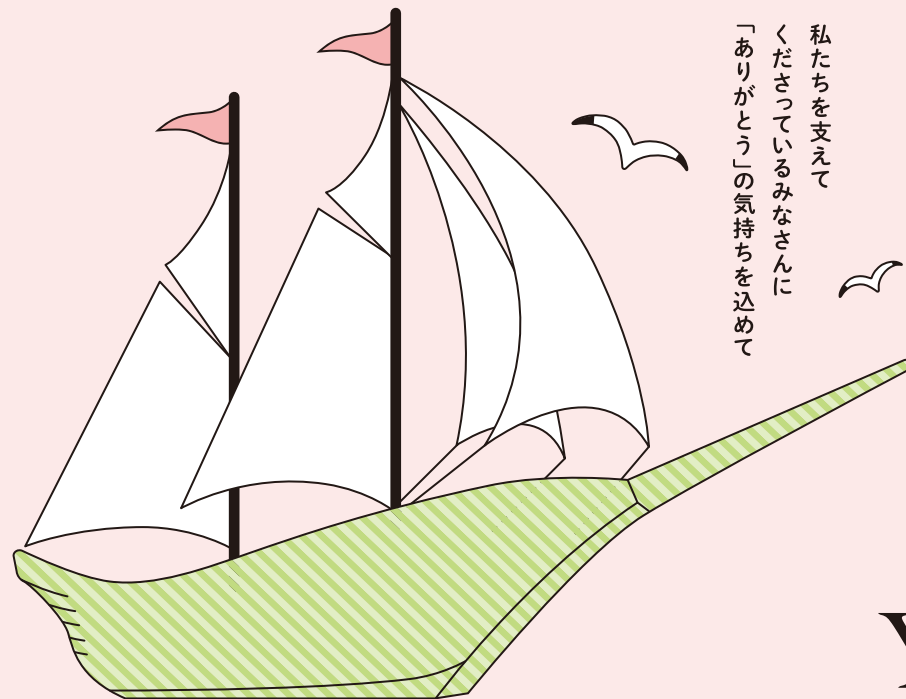
依藤 智子

娘が3歳になり随分と手がかからなくなったものの、子育てしながらのコンサル稼業は、周りの人の協力なしには成り立ちません。ありがとうございますY3メンバー!ありがとうございます家族!2021年はもう少し家庭も大切にしたいなー。

廣井 真由美

この6月に非常勤から正規メンバーになりました。
新しい水辺の拠点『β 本町橋』プロジェクトも始
まり、そこで出会う人やコトに刺激を受ける日々で
す。自分らしく楽しく元気にがんばるぞー！

風の便り 2021



私たちを支えて
くださっているみなさんに
「ありがとう」の気持ちを込めて

Y³_{lab.}

株式会社ワイキューブ・ラボ



プロジェクト紹介

2020年、誰も予想できなかったコロナ禍を経験しました。
いま考えたことが、きっとこれからのまちの力になると信じて。
いろんなまちのみなさんと一緒に、現状可能なベストを走りぬきました！

三宅町(奈良県) 三宅町役場 × Y3

もっとまちを好きになる拠点と まちのビジョンづくり

2017年から関わっている三宅町。いよいよ2021年春には建物が竣工し、夏頃には“三宅町まちづくり交流センターMiiMo(みいも)”として一部オープンします。これまで住民さんの声を反映するために、「どんなふうに使えたら楽しいか」「どんな施設なら、もっと三宅町を好きになるか」ということを話してきましたが、今年は、住民代表メンバーと職員さんが一緒になって、使い方やルール、運営方法など毎月アツイ会議を重ねて考えてきました。職員さんから飛び出した「誰も貸しキッチンを使ってくれそうにないなら、自分がカフェに修行に行きます!」という意見に目頭がぎゅっとなることも。また、20年後の三宅の未来を考えるビジョンも住民さんと職員さんと一緒に考えています。若手職員さんが真剣に三宅の未来の姿を考え、子どもたちもまちを歩いて三宅のまちを知ろうとしています。
住民さんと職員さんの関係性にも新しい風がふき始め、新しい芽がでてきている三宅。2021年はぜひMiiMoを訪ねてくださいね。



大阪市 CITE'サロン × ソトから見た大阪研究会 × Y3

コロナ禍からまちの未来を探る(ソト研)

大阪のソトの視点をとりいれたまちづくりを研究するソト研では、コロナ禍での暮らしと働き方の変化をアンケートしてオンラインで報告会を行ったり、和歌山のWhyKumano Hostel&Cafe Barにオンライン宿泊・ヒアリングしてみたり。新しいつながり方を体験しました。



大阪市 まちと女子の生き方・働き方研究会 × Y3大阪市

コロナ禍から生き方・働き方を考える

在宅ワークが増え比較的時間のゆとりができた今年の前半。新メンバーを迎えて約6年ぶりに活動再開したまちと女子の生き方・働き方研究会。「コロナ禍で考える生き方・働き方に関するアンケート」を実施しました。時間の確保が課題ですが、ゆとりと続けていきたいです。



大阪市 都心機能のバージョンアップを考える



船場の現地視察でイメージを膨らませて

朝来市 市民・行政が協働して総合計画を考える



アツイ対話で総合計画を検討中!

門真市 古川橋駅周辺エリアの未来ビジョンを考える



近い将来子どもエリマネの中心地へ! 絶賛準備中

大阪市北区 堂島・中之島地域のまちづくりをサポート



地域もオンラインで奮闘中!

まちとY3の10年物語

2021年、ワイキューブ・ラボは設立10年目を迎えます！

まちのこと、暮らしのことと向き合いながら、みなさんに支えられ、一步一步積み重ねてきました。

主なテーマは、「水辺」と「まち」の魅力づくり。

そして節目となる2021年、まちづくりの次のステージを目指して、

コンサルタントの立場を超えて、水辺の拠点『β本町橋』の運営を一般社団法人水辺ラボとしてスタートします。

私たちの新しいチャレンジと、それによって広がるコンサルティングのお仕事に、引き続きエールをいただければ嬉しいです。

2021年夏・β本町橋スタート！

ワイキューブ・ラボは、東横堀川のまちづくりで出会った仲間とともに、一般社団法人水辺ラボを立ち上げました。一般社団法人水辺ラボは、「まちと水辺にもっとワクワクを」をテーマに、『β本町橋』の運営に20年間チャレンジします。



β本町橋(2021年夏オープン予定・大阪市中央区)



詳しくはこちら

2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021

Y3の暮らし

仲間が増えたり、子育てに突入したり、事務所移転も。メンバーのライフステージと一緒に進化するY3。

事務所

メンバー

活動

株式会社ワイキューブ・ラボ設立
大阪市都島区の代表杉本自宅にて



大阪市北区へ移転
兄弟事務所ハートビートプランに間借りさせていただく

杉本 結婚・出産

依藤 入社

依藤 結婚



大阪市西区へ移転
川口お旅所開設

福 入社／依藤 出産

倉庫をリノベーションした事務所。
冬は薪ストーブとコタツで仕事してます。

福 結婚

廣井 入社

まち女子研

e-よこ会(東淀川区水辺再生協議会)



初めての子育てで、
子どものまちなか
環境の貧しさに
びっくり！



大阪サカヤヒメまちづくり部会

JUDIフォーラム

まち女子研

まちと子ども研究会

水辺の仕事

社会実験の実施などしながら、公共空間の利活用や舟運活性化を目指す。気持ちいい水辺空間が大好きなY3が継続的に取り組むテーマ。

東横堀川

大阪都心

淀川

小型船拠点検討

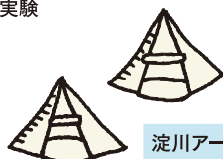


北新地ガーデンブリッジ社会実験

中之島ゲート社会実験



社会実験の嵐



淀川アーバンキャンプ社会実験



小型舟運活性化検討

がもよん水辺魅力づくり検討

本町橋BASEあり方検討

東横堀川地先利用検討

一般社団法人水辺ラボ

東横堀川水辺利活用検討



まちの仕事

それぞれのまちの暮らし人や関係者と議論を積み重ねたり、アンケートしたりしながら、まちのビジョンを描く。最近ではハハ目線を活かして「子ども」の視点からの組み立てが増える。

大阪

関西圏

中央区まちづくりセンター支援

北区魅力戦略



東淀川区魅力発信



「子どもとまちのことやりたいです！」
と言い続けてたら実現。
想いは言葉にするものだと実感。

子どもとまち！

CITEさろん ソトからみた大阪研究会

堂島・北新地まちづくり

中之島まちづくり(子ども)

門真市古川橋駅周辺子どもエリマネ検討(子ども)

枚方市シティブロモーション戦略



朝来市総合計画

朝来市シティブロモーション戦略

北山村地方創生戦略

三宅町複合施設運営計画／三宅ビジョン(子ども)



大阪以外で縁を
いただくが増える。
Y3carで西へ南へ！

丸亀市夢カフェWS

TURNING POINT

私たちのスタイルに辿り着ききっかけになった出来事

A 働くことと生きることが共存できる職場を

まちづくりの仕事はやりがい大きい分、深夜や休日まで作業が及ぶことも。仕事も楽しく頑張りたいけど、やっぱり自分の暮らしや周りの人も大切にしたい。そんな生き方・働き方ができるまちづくりコンサルタント事務所を目指して、ワイキューブ・ラボを設立。



いまま、都市をつくる仕事
きっかけになった研究・執筆活動「いま、都市をつくる仕事」2011

B 公共空間をソーシャルスペースにするには仕組みだけじゃダメ

公共空間の規制緩和の仕組みは、プレイヤーがどんなことをやりたいのか、どんな利用者が合うのかを考えながら組み立てる。そのイメージを持ちつつ現場と並走しないと、居心地よいソーシャルスペースを持續できない。仕組みづくりと現場の運営をセットでやらないと限界があるかも…という想いがつのる。



社会実験で居心地のよい水辺をリアル化「淀川アーバンキャンプ」2015～2018

C まちと人の新しい拠点づくりは実践あるのみ？！

人中心にまちのビジョンを考えると、「まちと人をつなぐ拠点づくり」に行きつくことに。観光案内所でも地域集会所でもないその拠点は、どんな空間・しつらえか、ルール・サービスは、そして誰が運営するのが最大の課題に。具体化するには実践するしかないんじゃないか…との気持ちが大きくなる。



まちと人をつなぐ出会いと議論の場「川口お旅所」2017～

D 仕事と活動のカベを超えたい！

様々な立場でまちに関わっているY3メンバー。活動は、仕事ほど深く関わるのが難しい。仕事になると、方向転換でがっかりすることも。そこで、東横堀川のまちづくりで出会ったメンバーと一緒に、一般社団法人水辺ラボを立ち上げることに。会社として一般社団法人の社員となり、事業も実践。コンサルティングにも新しい展開が期待できそう！



一社)水辺ラボの初イベント「東横堀川水辺探検クラブ」2020

Y3らしい事業の実践&リアリティあるコンサルティング